

第一級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)すること。

法規 12問 }
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

[1] 無線局の免許を与えられないことがある者はどれか。次のうちから選べ。

- 1 刑法に規定する罪を犯し懲役に処せられ、その執行を終わった日から2年を経過しない者
- 2 無線局の免許の取消しを受け、その取消しの日から5年を経過しない者
- 3 無線局を廃止し、その廃止の日から2年を経過しない者
- 4 電波法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わった日から2年を経過しない者

[2] 次の記述は、船舶に施設する無線設備について述べたものである。無線設備規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

船舶の航海船橋に通常設置する無線設備には、その筐体^{きやうたい}の見やすい箇所に、当該設備の発する磁界が に障害を与えない最小の距離を明示しなければならない。

- 1 他の電氣的設備の機能
- 2 自動レーダープロットング機能
- 3 磁気羅針儀の機能
- 4 自動操舵装置の機能

[3] 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 携帯する。
- 2 無線局に備え付ける。
- 3 航海船橋に備え付ける。
- 4 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所に掲げる。

[4] 無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 2 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 3 電波法に違反したとき。
- 4 免許証を失ったとき。

[5] 船舶局の免許人は、遭難通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 2 その通信の記録を作成し、2年間これを保存する。
- 3 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。
- 4 総務大臣に届け出て、無線局の検査を受ける。

[6] 無線局の免許人は、免許状に記載された事項に変更を生じたときは、どうしなければならないか。電波法の規定に照らし、次のうちから選べ。

- 1 速やかに免許状を訂正し、遅滞なくその旨を総務大臣に報告しなければならない。
- 2 その免許状を総務大臣に提出し、訂正を受けなければならない。
- 3 遅滞なくその免許状を返納し、免許状の再交付を受けなければならない。
- 4 速やかに免許状を訂正し、その後最初に行われる無線局の検査の際に検査職員の確認を受けなければならない。

第一級海上特殊無線技士試験問題

法 規

[7] 無線局を運用する場合において、無線設備の設置場所は、遭難通信を行う場合を除き、どの書類に記載されたところによらなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 免許状
- 2 免許証
- 3 無線局事項書
- 4 無線局免許申請書

[8] 無線局は、自局に対する呼出しであることが確実にない呼出しを受信したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 他の無線局が応答しない場合は、直ちに応答しなければならない。
- 2 試験電波を発射して相手局に再度の呼出しを喚起しなければならない。
- 3 その呼出しが反復され、かつ、自局に対する呼出しであることが確実に判明するまで応答してはならない。
- 4 応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりに「貴局名は、何ですか」を使用して、直ちに応答しなければならない。

[9] 無線電話通信において、呼出しに使用した電波と同一の電波により通報を送信する場合、順次送信する事項のうち省略することができるものはどれか。次のうちから選べ。

- | | | |
|---|--------------|----|
| 1 | 相手局の呼出名称 | 1回 |
| 2 | (1) 相手局の呼出名称 | 1回 |
| | (2) こちらは | 1回 |
| | (3) 自局の呼出名称 | 1回 |
| 3 | (1) 相手局の呼出名称 | 1回 |
| | (2) こちらは | 1回 |
| 4 | (1) こちらは | 1回 |
| | (2) 自局の呼出名称 | 1回 |

[10] 遭難通信を行う場合を除き、使用をできる限り短時間とし、かつ、1分以上にわたってはならない周波数の電波はどれか。次のうちから選べ。

- 1 156.8MHz
- 2 2,187.5kHz
- 3 27,524kHz
- 4 156.525MHz

[11] 無線局に備え付けておかなければならない時計は、その時刻を中央標準時又は協定世界時にどのように照合しておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 運用開始前
- 2 毎週1回以上
- 3 毎日1回以上
- 4 毎月1回以上

[12] 次の記述は、遭難の呼出し及び通報について述べたものである。国際電気通信連合憲章の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線通信の局は、遭難の呼出し及び通報を、、絶対的優先順位において受信し、同様にこの通報に回答し、及び直ちに必要な措置をとる義務を負う。

- 1 いずれから発せられたかを問わず
- 2 自国の領海で発せられた場合には
- 3 公海で発せられた場合には
- 4 自国の領海及び公海で発せられた場合には

平成23年10月期

第一級海上特殊無線技士「法規」合格基準及び正答

1 試験問題 12問

2 満点及び合格点 満点 60点 合格点 40点

配点 1問5点

3 正答

問題	正答
[1]	4
[2]	3
[3]	1
[4]	3
[5]	1
[6]	2
[7]	1
[8]	3
[9]	2
[10]	1
[11]	3
[12]	1